

三戸町家庭教育支援チーム

NPO法人子育て支援ネットゆりかご



～活動紹介～

私たち三戸町家庭教育支援チーム（NPO法人子育て支援ネットゆりかご）は、平成20年度から活動しています。平成22年度には子育て支援団体ゆりかごとして、三戸町より地域子育て支援拠点事業を受託。平成25年度には法人化し活動を続けて参りました。地域子育て支援拠点事業の4つの基本事業を活動の柱とし、子育て中の親子を暖かく迎え、子育てが楽しいと思える居場所づくりを目指しています。

～活動の体制～

- ◇活動開始年月：2008年4月
- ◇活動拠点：青森県三戸町 総合福祉センターふくじゅそう
- ◇活動範囲：町内全域、近隣町村
- ◇チームのメンバー：9人
(子育て支援員4人、元教員1人、元保育士3人、元介護士1人)
- ◇連携機関等：三戸町役場住民福祉課、健康長寿課、町内児童館、子ども会育成連絡協議会、絵本の読み聞かせ団体、スポーツクラブ、地元の県立高校など



～活動の対象～

- 妊婦とその家族
- 乳幼児期 小学生 中学生
- 高校生以上の子供を持つ保護者・家庭
- その他 ()



～活動場所～

- 幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校
- 社会教育施設 福祉施設 保健センター等 企業
- 家庭（訪問等） オンライン その他 ()

・育児以外のことでも話せるママ友ができる
心が軽くなりました♪
・自分だけが大変じゃないって思えた。

～アピールポイント！主な活動～

★**のぼたん広場の開設**…転勤者も多いため、見知らぬ土地での子育ての仲間づくりがスムーズにできるようにサポートし、親子が何度も利用したくなる温かい寄り添いの支援を大切にしています。週に一度の親子交流では、わらべうた遊びや絵本の読み聞かせ、その他、季節の行事や製作活動、おたのしみ会、お誕生会なども開催しています。月に一度のおしゃべりサロン、マタニティのママ体験、年に4回の健康・栄養相談（町の保健師、栄養士が広場へ出向く）など、専門職によるサポートを受けることで安心な子育てにつながっています。



★**小学生の放課後の居場所「ほっとステーション」の開設**…大人数が苦手、人間関係にトラブルがあったなど少人数の居場所を必要とする児童の居場所を開設しています。それぞれの個性を認め、多様性に応じた関わりをすることで自分らしく過ごせる場所を提供しています。また、多少に関わらず、児童の変化は家庭と支援員が共有し、早めの対応を心がけています。町の保健師による巡回相談（年5回）もあり、保護者、児童のどちらの問題にも対応する体制ができます。

～その他の活動内容～

いろいろな体験ができる楽しかったです！



★**みんなの体験広場**…拠点施設以外の場所で、各種体験コーナーを設け、身近な場での遊びと地域交流の場を提供しています。また、仲間づくりやリフレッシュ、元気になれる場としても提供しています。

近場で楽しめて、いつも助かります！もっと回数を増やしてほしい。

★**ママの為のリフレッシュ講座**…育児から離れ、自分の時間をつくることで心身共にリフレッシュし、ゆとりある子育てをするための支援講座を開催しています。

★**木のおもちゃ体験広場**…平日広場に来られない親子のために、広場と同じ施設内の別室を会場にして、良質な木製おもちゃに触れてもらう機会を設けています。



★**保育講座**…保護者をはじめ、幼児施設や児童館の職員、保健師、看護師、介護士などを対象に、現場の課題をテーマに専門の講師を招いて研修の機会を持ち、関係機関との連携を図っています。（R7はわらべうた講座を開催）

保育でも家庭でも取り入れていきたい。



★**のぼたん通信の発行**…子育てに関する情報提供や広場の行事予定、近隣町村での講座や行事のお知らせなどを掲載し、毎月発行しています。

★**小学校での「けりこま大会」の運営補助**…地元の小学校で行われている「けりこま大会」にて、審判や試合の運営などに協力しています。学校とのつながりを持てる機会となっています。



～成果と今後の展望～

のぼたん広場は親子が気軽に集まり仲間づくりができる場として、15年間継続しています。他県市町村から転入してきた方からは、同世代の仲間ができるうれしいとの声が多く聞かれ、子育ての悩みや情報などを共有することで、孤立感の解消などにつながる場となっています。また、ほっとステーションでは、その子らしさを表現することを大切にした寄り添いの支援により、安心して過ごすことができる居場所となっており、保護者からも継続を求められています。いずれの活動においても、地域の関係機関や各団体と連携を深め、子育て家庭のニーズに対応できる活動を今後も続けていきたいと考えています。

